

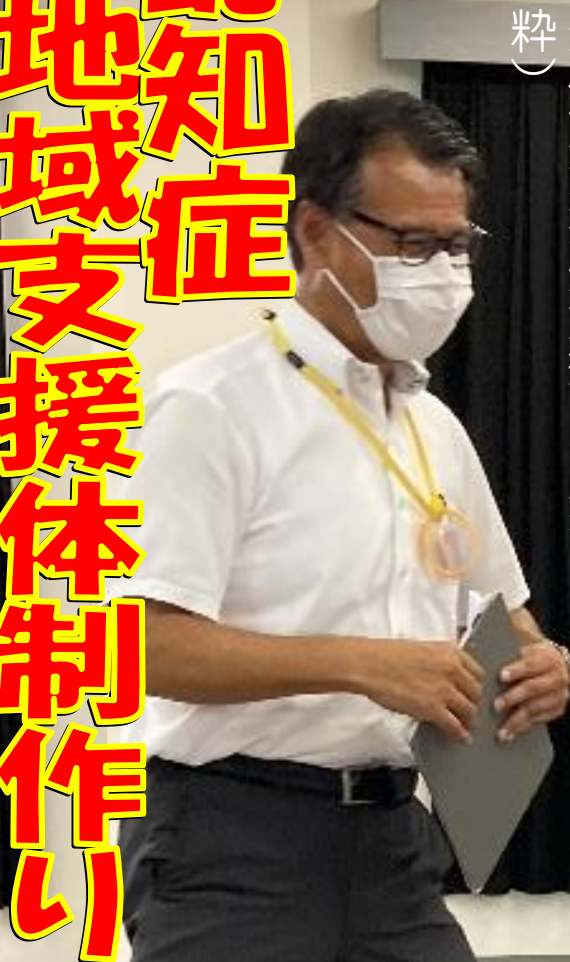
城山五日市観音

9月号

タイムス

認知症 地域支援体制作り

現在我が国において2012（平成24）年で認知症の人の数は約462万人、軽度認知障害（MCI）の人の数は約400万人と推計され、合わせると65歳以上高齢者の約4人に一人が認知症の人又はその予備軍とも言われていました。2018（平成30）年には認知症の人の数は500万人を超え、65歳以上高齢者の約7人に一人が認知症と見込まれています。（認知症施策推進大綱より抜粋）



認知症サポーター ステップアップ講座の様子

図1-2-11 65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率

令和4年
現在の推定



資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授より内閣府作成）

認知症はだれもがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人によって身近なものとなっています。認知症の人ができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができ、社会の実現を目指していくことが求められており、地域包括支援センターでは支援体制作りに取り組んでいます。

地域包括支援センターの 取り組み

認知症施策推進大綱の基本的考え方では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら

「共生」（認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があっても同じ社会で共に生きる）と「予防」（認知症にならないという意味ではなく、認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする）を車の両輪として施策を推進して

います。認知症の人が地域で暮らし続けるためには社会の理解を深めて同じ社会の一員として地域をとくに創っていくことが必要です。そのために地域で認知症の人や家族を手助けする認知症サポーターの養成を進めるとともに、生活環境の中で認知症の人と関わる

ことが多くと想定される小売業・金融機関・公共交通機関等の従業員向けの養成講座の開催機会を増やしています。広島市城山・五日市観音地域包括支援センターでは定期的に担当地域の公民館や集会所、学校や金融機関などにご協力いただき、**認知症サポーター養成講座**を開催しており、幅広い年代の方に受講していただいています。また最近

ステップアップ講座



認知症サポーター養成講座を修了した方が復習も兼ねて学習の機会を設け、座学だけでなくサポーター同士の発表・討議も含めたより実際の活動につなげるための講座「**ステップアップ講座**」も開催しています。

認知症あんしんガイドブック

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように認知症の進行段階に応じた本人の様子と家族の心構え、進行の段階に合わせた相談先や医療・介護サービス、その他の支援などをまとめた広島市では「**認知症あんしんガイドブック**」（認知症ケアパス）を作成しています。

認知症は進行によって症状が変化し症状の現れ方には個人差があります。自分や家族が認知症と分かった時に「今」どのような段階で、どのようなサービスが利用できるのかを知り、また「これから先」の生活について、本人と家族と一緒に考え話し合うために「認知症あんしんガイドブック」をご活用ください。困った時悩んだ時には一人で抱え込まずに地域包括センターへご相談ください。



地域包括支援センターに置いてあります



認知件数 133件

被害総額 約5億242万円

特殊詐欺

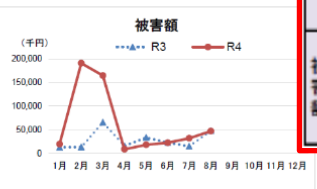
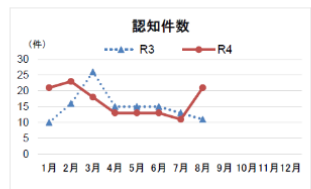
認知件数 133件 被害総額 約5億242万円

令和4年8月末現在
※暫定値

認知件数・被害額共に昨年よりも増加しています。

区分	間月末計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	R3年	121	10	18	26	15	15	15	13	11			
	R4年	133	21	23	18	13	13	19	11	21			
	増減	12	11	7	-8	-2	-2	4	-2	10			
被害額	R3年	228,346	12,781	13,390	85,378	15,870	33,341	22,876	14,873	48,037			
	R4年	502,421	19,537	190,790	184,502	8,555	17,997	22,335	31,844	46,881			
	増減	278,075	8,756	177,400	99,123	-7,115	-15,344	-540	16,971	-1,176			

区分	同月末計
件数	R3年 121
	R4年 133
	増減 12
被害額	R3年 228,346
	R4年 502,421
	増減 278,075



特殊詐欺が多発しています！

令和3年（2021年）一年間の特殊詐欺の被害額合計が4億7276万円です。令和2年の（2億4105万円）からほぼ倍増していました。令和4年になってからも令和4年8月末時点で昨年のペースを上回る被害額・認知件数となっています。

県内の特殊詐欺被害

特殊詐欺は様々な手口がありますが、その手口も日々巧妙な手口へ変わってきています。被害を受けないようにするためには必要な対策は、まずどんな手口の特殊詐欺が起きているのかを知っておくことが重要です。広島警察のホームページでも最新情報が更新されていますのでチェックしてみてください。県内では高額な詐欺被害も発生しています。実際に被害にあった事例を紹介しますので参考にしてください。

**広島県内で
2920万円の
被害発生**

息子をかたる犯人から連絡が入りました。ガラガラ声で話すため息子とは声の違いはありました。喉が痛みで病院から手術が必要と言われている、と説明していたそうです。犯人は「財布や携帯を無くして手元にお金がないが、この度会社に多大

な損害を与えてしまった。すぐにお金が必要なので用意してもらいたい。お金は会社の上司とその息子が自宅に取りに行く。」と言って電話を切りました。そのすぐ後にお金の受け取り役の犯人が自宅にきました。息子のためと思って犯人にお金を渡してしまいました。この事例では、本人が家族に確認をしたり考えたりする余裕を与えないままに決断を迫ることでお金をだまし取られてしまいました。「電話でお金のお話をされるのは詐欺」だと考え、そんな時こそ冷静に①犯人がお金を受け取りに来た時に改めて本人に連絡を取って確認を取る。②お金の話は詐欺と思い警察に連絡する。③非通知電話は拒否できるように電話の設定をする、などの対策をしておきましょう。佐伯区内でも詐欺被害の報告があがってきています。「自分は大丈夫」と思わずに、身近なこととして日頃から対策を考えておきましょう。

豚と夏野菜の冷やしうどん



夏バテ防止にたんぱく質たっぷりの料理を摂って元気に過ごしましょう！ビタミンB1たっぷりの豚肉に旬の夏野菜を加え、にんにくの入ったタレをかけて食べるスタミナ冷やしうどんです。

【作り方】 2人分

- ①Aを混ぜ合わせたれを作っておきます。
- ②豚は一口大に切り、茄子は縦に6等分にカットし、3cm位に切る。ミニトマトは半分に、しそは千切りにしておく。
- ③フライパンに油（分量外）を熱し、茄子と豚肉を炒め皿に取り出す。
- ④うどんを袋の指定通り茹で、ざるにあげ、流水でしっかり冷やし水を切り皿に盛りつける。
- ⑤盛り付けたうどんに、粗熱が取れた③、ミニトマト、青じそ、いりごまを彩りよく盛り付け、たれを回しかけ、最後に刻みのりを添える。

【材料】 2人分

うどん	2人前
豚肉（薄切り）	150g
茄子	100g
ミニトマト	6個
青じそ	5枚
白いりごま	少々
刻みのり	少々
めんつゆ（ストレート）	120ml
A ごま油	大さじ1
おろしにんにく	小さじ2

【ポイント】

- ※麺は素麺、ひやおぎなど好みの麺で。
- ※火を使いたくない方は豚と茄子に軽く酒を振り、レンジで加熱してもOKですよ。

【一人分栄養量】

エネルギー：445kcal
たんぱく質：23.7g 脂質：13.4g
炭水化物：19.5g 食塩相当量：2.7g
ビタミンB1：0.8mg 鉄：1.5mg

発行元：広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

〒731-5141 広島市佐伯区千同一丁目30-6（高東ビル1階）

TEL：082-924-7755 FAX：082-924-7761

開所時間：8:30～17:30（年中無休）



お問い合わせは
こちらの連絡先
まで